

授業科目 整形外科学 II

【担当教員名】 真柄 彰	対象学年	2	対象学科	理学・作業・義肢
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	◎

【一般目標：G10】
 前期で学習した基本的知識を基に部位別運動器官における疾患及び治療法について説明できる。各部位に各種外傷や疾病によって生ずる骨・関節・筋・脊髄以下の神経などの損傷がひきおこす運動学的障害の評価検査法と障害の改善方法について修得する。

【行動目標：SB0】
 1) 保存的療法により運動を再獲得する手段とその計画法を説明できる
 2) 手術的療法により運動を再獲得する手段とその計画法を説明できる
 3) 整形外科的な各種の具体的疾患についてその特徴と治療法を説明できる
 4) 疾患をみるだけでなくその対象者を全体としてとらえることができる

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	整形外科疾病論 脊椎の種々の疾患	3, 4	講義
2	側弯症・二分脊椎	3, 4	講義
3	外傷性疾患 骨折概論	1, 2	講義
4	骨折 - 体幹	1-4	講義
5	骨折 - 上肢	1-4	講義
6	骨折 - 下肢	1-4	講義
7	脊髄損傷	1-4	講義
8	関節外傷	1-4	講義
9	末梢神経外傷	1-4	講義
10	腱靭帯外傷	1-4	講義
11	スポーツ傷害	1-4	講義
12	スポーツ障害	1-4	講義
13	熱傷と褥瘡	1-4	講義
14	切断と義肢	1-4	講義
15	まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	標準理学療法学・作業療法学 基礎専門分野整形外科学 第3版	立野勝彦	医学書院	2010・3,500円+税
参考書	リハビリテーション総論	椿原彰夫	診断と治療社	2008・3,600円+税
その他の資料	新潟医療福祉大学 整形外科学 講義レジメ集 真柄 彰 edulan 上に参考ファイルを提示する			2010・購入してください

【評価方法】 出席 15%程度 定期試験 85%程度	【履修上の留意点】 予習復習にこころがけること
----------------------------------	----------------------------